

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：

担当課長名：

<b>事業名</b> 一般国道287号 <small>あらと</small> 荒砥拡幅	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 山形県
<b>起終点</b> 自：山形県西置賜郡白鷹町荒砥 至：山形県西置賜郡白鷹町荒砥		<b>延長</b> 1.0 km
<b>事業概要</b> 当該事業区間の現道は、幹線道路であるにもかかわらず、幅員狭小・急勾配であり、事故や交通混雑等による難所となっていた。本事業は、これら幅員狭小(8.0m 20.0m)・急勾配(8% 4%)の解消を図り、地域の幹線道路として安全で円滑な道路確保と市街地活性化の支援を図るものである。		
H8年度事業化	H4年度都市計画決定	H8年度用地着手
全体事業費 4.6億円		事業進捗率 8.6%
計画交通量 6,800台/日		供用済延長 0.5 km
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 7/51億円 事業費：6/49億円 維持管理費：1/2億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 24/84億円 走行時間短縮便益：22/80億円 走行費用減少便益：0/1億円 交通事故減少便益：1/3億円
B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 3.6		<b>基準年</b> 平成17年
<b>事業の効果等</b> ・都市の再生(市街地の活性化が図られる) ・安全な生活環境の確保 <span style="float: right;">他6項目に該当</span>		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 当該事業区間は中心商店街を形成する主要区間であるため、事業の早期完成を強く要望されている。置賜一円の市町、議会からなる置賜総合開発協議会から要望書を平成17年6月に受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 地震発生後の緊急輸送を確保するための効率的な地震対策の推進を図る目的として、「山形県道路防災・情報連絡協議会」において平成9年1月に緊急輸送道路ネットワーク計画を策定し、当該区間を含む当該路線は緊急輸送道路に指定され、路線として重要性が高まった。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成14年度までに起点側(L=580m)を部分供用している。平成17年度までの用地進捗率100%、工事が57%である。主な残事業は、草木沢橋の上部工および改良舗装工が残っている。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地取得に時間を要し、事業進捗に遅れが生じたが、平成16年度に用地買収が完了している。今後は残る区間の早期完成を目標としている。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 再生砕石、再生合材等を積極的に利用し、コスト縮減を図っている。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。